

7月24日～8月7日、本校の生徒11名が米国サウスカロライナ州チャールストン市で研修を行います。滞在中は100年以上の歴史を持つ女子高のAshley Hall校と連携し、アメリカ、中国の生徒たちと「女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクト」の共同研究を行う予定です。企業訪問や女性起業家とのセッション等を通して国際的な視野の拡大を目指します。

7月24日(月) チャールストンに到着しました



[成田空港にて]

チャールストン空港から学生寮へ

7月24日、生徒11名と教員2名が成田空港を出発し、チャールストン空港に到着しました。空港に迎えに来てくれたAshley Hall校の先生やGA(Global Ambassador)の生徒たちと合流すると、長旅の疲れも見せずに笑顔で挨拶。研修期間を通して過ごす学生寮“インターナショナルハウス”に向かいました。



生徒たちは、この研修に「挑戦、一歩踏み出す」という目標を設定して臨んでいます。日本に帰ってからは後悔することが無いようにと、初日から失敗を恐れずに英語で話しかける姿が見られました。

明日からはよいよAshley Hall校での授業が始まります。



[インターナショナルハウスにて]

顔合わせ(上)では少し緊張気味? ...と思いきや、食事後には講師の先生も驚くほど打ち解けていました(下)。



[インターナショナルハウス]

“インターナショナルハウス”は外国人留学生専用の学生寮で、19世紀の裕福な商人の邸宅を修復・再現した建物です。



〔真剣な表情でGAの話を書く生徒たち〕

■ Ashley Hall 校での授業開始

いよいよ Ashley Hall 校での授業が始まりました。授業にはアメリカ人のGAだけでなく、中国から参加している生徒たちも一緒に臨みます。国籍は様々ですが、すぐに打ち解けて積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする生徒たちの姿が見られました。



〔Ashley Hall 校〕

1909年にサウスカロライナ州唯一の女子高として設立された Ashley Hall 校は、各界で活躍する人材を輩出してきました。



〔小グループに分かれての活動〕

■ 日本の文化を紹介し、チャールストンの伝統を学ぶ

3日目の授業では、自分自身のことや自国の文化をお互いに紹介しました（“Who We Are”）。日本や自分自身のことを知ってもらいたいという想いから、GAや講師の発言を参考に、英語の表現を工夫する姿が見られました。

また、Ashley Hall 校の生徒や講師からは、古くから地元で伝わるダンスについて教えてもらいました。ダンスの背景にある歴史や奴隷制との関連についても学び、実際に踊ってみることで、その伝統の重みを身体に感じました。



〔休み時間もお互いの国に興味深々〕

授業の間の休憩時間も充実した国際交流の時間。Ashley Hall 校の生徒や中国からの留学生と入り混じって英語で会話を楽しんでいます。この日は、体の各部分を様々の国の言葉（日本語・英語・中国語・仏語）で教え合いました。

研修は始まったばかりですが、生徒たちは異文化に飛び込み、挑戦し、すでに多くの学びを得ています。これからチャールストンの仲間たちと共同で課題に取り組み、実り豊かな研修期間を過ごしたいと思います。